

平成 2 9 年度行政事業レビューシート (厚生労働省)											
事業名	両立支援等助成金（再雇用者評価処遇コース）				担当部局庁	雇用均等・児童家庭局			作成責任者		
事業開始年度	平成 2 9 年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	職業家庭両立課			職業家庭両立課長 源河 真規子		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	雇用保険法第62条第1項第5号				関係する計画、 通知等	働き方改革実行計画(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定) 雇用関係助成金支給要領					
主要政策・施策	高齢社会対策、子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画				主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	妊娠、出産、育児又は介護を理由とした退職者が就業が可能となった場合に、その経験、能力が適切に評価され働くことができるよう、再雇用制度の導入、運用を行う事業主を支援し、もって上記理由による退職者の再雇用の促進を図る。										
事業概要 （5行程度以内。 別添可）	妊娠、出産、育児又は介護を理由とした退職者を対象とし、その経験、能力が適切に評価される再雇用制度を導入し、再雇用者を一定期間継続雇用した事業主に支給。 再雇用者1人目 （継続雇用6か月後） ①中小企業事業主 19万円＜24万円＞、②中小企業事業主以外の事業主 14.25万円＜18万円＞ （継続雇用1年後）左記と同額 再雇用者2～5人目 （継続雇用6か月後） ①中小企業事業主 14.25万円＜18万円＞、②中小企業事業主以外の事業主 9.5万円＜12万円＞ （継続雇用1年後）左記と同額										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	3,736					
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	0	0	0	3,736	0				
	執行額		0	0	0						
	執行率（％）		-	-	-						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	雇用安定等給付金		3,736								
	計		3,736	0							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 29 年度
	支給対象となった労働者のうち、離職後、就業を希望した時期から1年以内に再雇用された労働者割合70%以上		支給対象となった労働者のうち、離職後、就業を希望した時期から1年以内に再雇用された割合		成果実績	％	-	-	-	-	-
					目標値	％	-	-	-	-	90
					達成度	％	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	助成金を受給した事業主を対象としたアンケート										
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 29 年度
	助成金を支給されたことにより労働者の継続就業を図ることができたとする事業主の割合90%以上		助成金を支給されたことにより労働者の継続就業を図ることができたとする事業主の割合		成果実績	％	-	-	-	-	-
					目標値	％	-	-	-	-	90
					達成度	％	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	助成金を受給した事業主を対象としたアンケート										

活動指標及び活動実績 (アウトプット)			活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
			助成金支給件数		活動実績	件	-	-	-	-			
					当初見込み	件	-	-	-	26,880			
単位当たりコスト			算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
			助成金の執行額(X)／助成件数(Y)		単位当たりコスト	千円	-	-	-	139			
					計算式	X/Y	-	-	-	3,736,300/26,880			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	男女労働者の均等な機会と待遇の確保対策、女性の活躍推進、仕事と家庭の両立支援等を推進すること(VI-1-1)										
		施策	男女労働者の均等な機会と待遇の確保対策、女性の活躍推進、仕事と家庭の両立支援等を推進すること(VI-1-1)										
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			-		実績値	-	-	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-	-	-		
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
			-		-								
					施策の進捗状況(実績)								
		-											
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	育児や介護等を理由とした退職者の再雇用支援により、仕事と家庭の両立支援の推進に寄与する。												
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-	-	-		
					達成度	%	-	-	-	-	-		
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-	-	-		
					達成度	%	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
		-											
		事業所管部局による点検・改善											
		国費投入の必要性	項 目					評 価	評価に関する説明				
			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	事業主が、育児や介護等を理由とする退職者に対する再雇用制度を導入し支援することは、「働き方改革実行計画」に定められた事項であり、国民や社会のニーズを反映している。				
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	支給対象者が雇用保険適用事業主であり、雇用保険制度を運用している国(労働局)が実施すべき事業である。							
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	法律に基づく取組を促進する事業であり、政策目的の達成にも寄与する優先度の高い事業である。							

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業は、事業主から徴収した雇用保険料を財源に、労働者の仕事と家庭の両立を容易にし、労働者の雇用の安定に資するために、事業主に支給するものであるため、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	支給額は、制度の目的を踏まえて、個々の案件に見合った適切な金額を算定している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は、事業主に支給する助成金のみで構成されており、必要最低限のものとなっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(イメージ)

厚生労働省
3,736百万円

[支給要領等の作成、審査・支給業務]

↓

[助成]

A. 事業主
3,736百万円

[再雇用制度の整備、運用]

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.事業主			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-